

## 【中期目標期間（見込）評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	中期目標を上回っている	目標の達成状況が100%超
III	おおむね中期目標どおり達成している	目標の達成状況が90%超100%以下
II	中期目標を下回っている	目標の達成状況が60%超90%以下
I	中期目標を大幅に下回っている	目標の達成状況が60%以下

## 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証						
			自己評価	検証(案)						
01	<p><b>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</b> 新中央診療棟整備に向けて策定した整備計画に基づき、高度医療機器の更新・整備を進める。</p> <p><b>2 医師・看護師・コメディカル等の医療従事者の確保</b> 看護職員修学資金貸付などの支援制度を継続実施するとともに、積極的な広報などにより看護師、コメディカルの確保に努める。定年を迎えた医師・看護師・コメディカルのうち、病院経営に寄与すると認められる職員の定年延長・再雇用の推進、大学医局との連携などによる医師の確保に努める。 また、医師・看護師の業務の負担を軽減するため、補助者等の採用を推進する。 さらに、就業人口減少化に対応し、医療従事者の安定的確保を図るため、再雇用制度の拡充や定年年齢の引上</p>	<p>* 県内医療水準の向上に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、新規購入や更新を計画的に進めた。</li> <li>・ 高度医療機器のうち、特に老朽化が激しく診療に支障をきたすと思われる医療機器を中心に整備を行った。</li> <li>・ 手術支援ロボット「ダビンチ」やハイブリッド手術室を東濃地域で初めて導入する等、診療機能の拡充を進めた。</li> <li>・ 看護師不足を解消するため、看護職員修学資金貸付制度等の拡充や、就職ガイダンスへの参加、インターンシップの実施、当院ホームページやSNS等の各種媒体の活用、院内若手職員を中心とした「看護職員確保・離職防止対策チーム」を発足するなど、幅広い活動を展開し看護師確保に取り組んだ。また、就業環境の改善等に取り組むなど、離職防止対策にも努めた。(●)</li> <li>・ 福利厚生対策として、院内保育施設にて夜間保育・休日保育・病児保育を実施した。</li> <li>・ 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による研修を実施するなど医師の資質向上を図った。また、内科専攻研修プログラムの基幹施設として、症例検討会を実施するなど専攻医の育成と研修の充実を図った。</li> <li>・ 専門性の高い看護師を養成するため、認定看護師等長期研修計画に基づき、必要な研修等への参加を支援し、特定行為看護師や、認定看護師等の資格取得の促進を図った。</li> <li>・ コメディカルについて、最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、国、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行った。</li> </ul> <p>○ 令和2年度以降に更新・整備した代表的な高度医療機器の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>導入年度</th> <th>機器名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度</td> <td>汎用血管用エックス線撮影装置</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>デジタルガンマカメラシステム</td> </tr> </tbody> </table>	導入年度	機器名	R2年度	汎用血管用エックス線撮影装置	R2年度	デジタルガンマカメラシステム	IV	
導入年度	機器名									
R2年度	汎用血管用エックス線撮影装置									
R2年度	デジタルガンマカメラシステム									

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●)、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価)					評価委員会の検証																																																																																									
							自己 評価	検 証 (案)																																																																																								
	<p>げに向けて取り組む。</p> <p><b>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</b> 大学等関連機関や学会における教育研修へ積極的に職員を参加させる。 専攻医研修プログラムの基幹施設(内科・外科・精神科領域)として、専攻医育成に努めるとともに、必要に応じてプログラムの見直しを行い、プログラムの充実に努める。</p> <p><b>4 特定行為看護師、専門看護師等の資格取得の促進</b> 特定行為研修を包含した新たな「認定看護師(特定認定看護師)」の資格取得支援を進めるとともに、看護師等が特定行為を行うための環境整備を進める。また、専門看護師等の専門性の高い資格取得についても、研修支援制度をもとに計画的に実施する。</p> <p><b>5 コメディカルに対する専門研修の実施</b> 国、岐阜県等が主催する講習会・研修会への参加支援や各種認定資格の取得・維持のための支援などを行う。</p> <p><b>6 専門性を発揮したチーム医療の推進</b> 医療従事者間での目的と情報の共</p>	<table border="1"> <tr><td>R3年度</td><td>MRI 撮影装置 (3.0T)</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>PET-CT 撮影装置</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>人工心肺装置</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>エックス線CT 撮影装置</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>全自動錠剤分包機</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>超音波診断装置</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>ハイブリッド手術室用撮影装置</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>手術支援ロボット ダビンチ</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>MRI 撮影装置 (1.5T)</td></tr> </table> <p>○ 医師、看護師、コメディカルの職員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R元</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>136人</td> <td>151人</td> <td>156人</td> <td>165人</td> <td>163人</td> <td>+27人</td> </tr> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>476人</td> <td>490人</td> <td>477人</td> <td>446人</td> <td>453人</td> <td>▲23人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>185人</td> <td>199人</td> <td>199人</td> <td>198人</td> <td>201人</td> <td>+16人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 各年度の職員数は各年度末時点。</p> <p>○ 認定看護師・専門看護師数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R元年度末</th> <th>R2年度末</th> <th>R3年度末</th> <th>R4年度末</th> <th>R5年度末</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数</td> <td>21人</td> <td>23人</td> <td>25人</td> <td>24人</td> <td>24人</td> <td>+3人</td> </tr> <tr> <td>専門看護師数</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>+1人</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>±0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ コメディカルの学会研修参加者数、資格取得・認定件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会研修参加者数</td> <td>515人</td> <td>297人</td> <td>496人</td> <td>484人</td> <td>301人</td> </tr> <tr> <td>資格取得・認定件数</td> <td>45人</td> <td>35人</td> <td>44人</td> <td>83人</td> <td>72人</td> </tr> </tbody> </table> <p>* チーム医療やクリニカルパスの推進、入退院支援の充実、ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)などの活用に関する事項 ☆ 業務実績等 ・ ICT(感染防止対策チーム)、NST(栄養サポートチーム)やRST(呼吸ケアサポートチーム)、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、PCT(緩和ケアチーム)、糖尿病チームなどの活動を推進した。また、PCTに専</p>	R3年度	MRI 撮影装置 (3.0T)	R3年度	PET-CT 撮影装置	R3年度	人工心肺装置	R4年度	エックス線CT 撮影装置	R4年度	全自動錠剤分包機	R4年度	超音波診断装置	R5年度	ハイブリッド手術室用撮影装置	R5年度	手術支援ロボット ダビンチ	R5年度	MRI 撮影装置 (1.5T)	区分\年度	R元	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	医師	136人	151人	156人	165人	163人	+27人	看護師・助産師	476人	490人	477人	446人	453人	▲23人	コメディカル	185人	199人	199人	198人	201人	+16人	区分\年度	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	増減(R元→R5)	認定看護師数	21人	23人	25人	24人	24人	+3人	専門看護師数	3人	4人	4人	4人	4人	+1人	認定看護管理者	1人	1人	1人	1人	1人	±0人	項目\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	学会研修参加者数	515人	297人	496人	484人	301人	資格取得・認定件数	45人	35人	44人	83人	72人		
R3年度	MRI 撮影装置 (3.0T)																																																																																															
R3年度	PET-CT 撮影装置																																																																																															
R3年度	人工心肺装置																																																																																															
R4年度	エックス線CT 撮影装置																																																																																															
R4年度	全自動錠剤分包機																																																																																															
R4年度	超音波診断装置																																																																																															
R5年度	ハイブリッド手術室用撮影装置																																																																																															
R5年度	手術支援ロボット ダビンチ																																																																																															
R5年度	MRI 撮影装置 (1.5T)																																																																																															
区分\年度	R元	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																																																																																										
医師	136人	151人	156人	165人	163人	+27人																																																																																										
看護師・助産師	476人	490人	477人	446人	453人	▲23人																																																																																										
コメディカル	185人	199人	199人	198人	201人	+16人																																																																																										
区分\年度	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	増減(R元→R5)																																																																																										
認定看護師数	21人	23人	25人	24人	24人	+3人																																																																																										
専門看護師数	3人	4人	4人	4人	4人	+1人																																																																																										
認定看護管理者	1人	1人	1人	1人	1人	±0人																																																																																										
項目\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																																																																																											
学会研修参加者数	515人	297人	496人	484人	301人																																																																																											
資格取得・認定件数	45人	35人	44人	83人	72人																																																																																											

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●)、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価)		評価委員会の検証																					
			自己 評価	検 証 (案)																					
	<p>有化及び業務連携により、個性のある医療を提供する。また、医師・看護師の負担軽減、医療の質向上も念頭に置いたチーム医療の充実に向けた体制整備を進める。</p> <p>各種診療ガイドライン等に基づいて作成されたクリニカルパスを活用するとともに、評価・改善することによりクリニカルパスの最適化にも取り組み、チーム医療の推進や医療の質の向上を図る。</p> <p><b>7 ICT (情報通信技術) やAI (人工知能) 等の活用</b></p> <p>地域の医療機関と患者情報を共有できるシステムの構築等、ICTの活用に積極的に取り組む。また、AIを活用することで、よりの確な診断(総合診療支援、画像診断等々)を行うとともに、医療全体の精度や質の底上げを目指す。</p> <p><b>8 入退院支援の充実</b></p> <p>入退院支援センターの充実により入院予定患者への早期支援に積極的に取り組む。</p> <p>退院に向けた入院医療機関と関係機関との共同指導や連携を図り、患者サービスの充実に努める。また、入院早期から、介護・福祉機関との連携を図り、退院困難な患者支援に取り組む。</p>	<p>任の看護師(がん性疼痛看護認定看護師)を配置し、一般病棟へチームラウンドの活動などを推進したほか、新型コロナウイルス感染症対策では、ICTが院内だけでなく地域の医療機関にも感染対策の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整形外科病棟をモデル病棟とした、RRS(院内迅速対応システム)の試験運用を開始した。</li> <li>クリニカルパスの新規登録を進めた。また、クリニカルパス使用率は令和5年度に50.3%と50%を超える実績となった。</li> <li>たじみのネット(地域医療連携ネットワークシステム)を構築し、運用を開始した。</li> <li>一部部位を対象とした、AI画像診断を開始した。</li> <li>入退院支援センターと外来との連携強化などにより、入院予定患者の早期支援を実施した。</li> <li>関係医療機関や施設、訪問看護ステーション等への訪問活動や、コロナ禍では情報交換会をオンラインで実施するなど、情報共有を図った。</li> </ul> <p>○ クリニカルパスの登録件数・利用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録件数</td> <td>128件</td> <td>142件</td> <td>147件</td> <td>155件</td> <td>165件</td> <td>+37件</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>46.6%</td> <td>45.3%</td> <td>45.0%</td> <td>49.9%</td> <td>50.3%</td> <td>+3.7pt</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	登録件数	128件	142件	147件	155件	165件	+37件	利用率	46.6%	45.3%	45.0%	49.9%	50.3%	+3.7pt		
項目\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																			
登録件数	128件	142件	147件	155件	165件	+37件																			
利用率	46.6%	45.3%	45.0%	49.9%	50.3%	+3.7pt																			

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																											
			自己 評価	検 証 (案)																																																											
04	<p><b>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</b></p> <p>高度急性期・急性期病院としての役割を全うするため、外来診療規模を縮小する方向で最適化を図りつつ、多治見シャトル（病診連携システム）を効果的に活用し、診療所等訪問活動チームや医療連携交流会などで診療所等との連携を深めるとともに、近隣の医療機関との協力体制の充実により紹介・逆紹介を促進する。</p> <p>また、東濃・可児地域病病連携推進会議などの活動を通じて近隣病院との対話や協議を行い、東濃医療圏における地域医療構想（医療機能分化・連携）の具現化に努める。</p> <p><b>2 地域連携クリニカルパス</b></p> <p>連携パスコーディネーターによる地域連携クリニカルパスの運用促進に努める。</p> <p><b>3 疾病予防の推進</b></p> <p>地域住民を対象とした健康づくり講座や一般市民向けの公開講座を継続的に実施し、医療と健康に対する知識や関心を高める。</p>	<p>* 近隣の医療機関等との役割分担及び連携に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療連携センターによる開業医への訪問活動を実施し、近隣医療機関との役割分担、連携強化を図ったほか、紹介患者獲得や高度医療機器の利用に向けPR活動を実施した。</li> <li>・ 多治見シャトル（病診連携システム）やたじみのネット（地域医療連携ネットワークシステム）の効果的な活用等により、患者紹介率、逆紹介率は高い水準を維持することができた。</li> <li>・ 東濃可児地域病病連携会議を開催し、近隣の医療機関との間で急性期医療や回復期医療の提供体制について意見交換を行うなど病病連携の推進を図った。</li> <li>・ 地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症、心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、医療連携推進協議会を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。</li> <li>・ 地域住民を対象とした健康づくり講座について、新型コロナウイルス感染拡大時は開催を自粛したが、令和4年度、5年度は年間10回以上開催した。</li> <li>・ 市民公開講座について、令和3年度は開催を自粛したが、令和4年度に会場とオンライン配信を同時に行うハイブリット形式で実施した。また、令和5年度に健康フェスタを開催し、外部講師を招いての市民公開講座や、体験ブース、病院紹介ブースを設置するなど、健康増進や病院での取り組みなどの情報発信を行った。</li> </ul> <p>○ 多治見シャトル利用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,840件</td> <td>2,834件</td> <td>3,273件</td> <td>3,321件</td> <td>3,202件</td> <td>+362件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 紹介患者のうち医療連携予約の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78.4%</td> <td>82.0%</td> <td>80.7%</td> <td>79.0%</td> <td>79.8%</td> <td>1.4pt</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>73.4%</td> <td>74.3%</td> <td>72.8%</td> <td>73.3%</td> <td>74.8%</td> <td>1.4pt</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数</td> <td>20,677件</td> <td>17,048件</td> <td>18,345件</td> <td>19,250件</td> <td>19,776件</td> <td>▲901件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>101.2%</td> <td>98.6%</td> <td>97.4%</td> <td>100.5%</td> <td>98.2%</td> <td>▲3.0pt</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数</td> <td>19,996件</td> <td>16,590件</td> <td>17,638件</td> <td>18,149件</td> <td>17,967件</td> <td>▲2,029件</td> </tr> </tbody> </table>	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	2,840件	2,834件	3,273件	3,321件	3,202件	+362件	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	78.4%	82.0%	80.7%	79.0%	79.8%	1.4pt	区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	紹介率	73.4%	74.3%	72.8%	73.3%	74.8%	1.4pt	紹介実件数	20,677件	17,048件	18,345件	19,250件	19,776件	▲901件	逆紹介率	101.2%	98.6%	97.4%	100.5%	98.2%	▲3.0pt	逆紹介実件数	19,996件	16,590件	17,638件	18,149件	17,967件	▲2,029件	IV	
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																																																										
2,840件	2,834件	3,273件	3,321件	3,202件	+362件																																																										
R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																																																										
78.4%	82.0%	80.7%	79.0%	79.8%	1.4pt																																																										
区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																																																									
紹介率	73.4%	74.3%	72.8%	73.3%	74.8%	1.4pt																																																									
紹介実件数	20,677件	17,048件	18,345件	19,250件	19,776件	▲901件																																																									
逆紹介率	101.2%	98.6%	97.4%	100.5%	98.2%	▲3.0pt																																																									
逆紹介実件数	19,996件	16,590件	17,638件	18,149件	17,967件	▲2,029件																																																									

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●)、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価)					自己 評価	評価委員会の検証
		○ 高度医療機器利用状況						
		機器名\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	増減(R元→R5)
		C T	1,031 件	856 件	907 件	867 件	1,028 件	▲3 件
		M R I	607 件	601 件	608 件	620 件	588 件	▲19 件
		R I	158 件	194 件	197 件	197 件	214 件	+56 件
		P E T	50 件	61 件	47 件	74 件	37 件	▲13 件
		骨密度	85 件	79 件	99 件	99 件	97 件	+12 件
		合計	1,931 件	1,791 件	1,858 件	1,857 件	1,964 件	+33 件
		○ 開放病床の利用実績						
		区分\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	増減(R元→R5)
		医科	11 件	1 件	11 件	9 件	21 件	+10 件
		歯科	29 件	20 件	35 件	44 件	36 件	+7 件
		○ 地域連携バスの運用状況						
		パス名\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	増減(R元→R5)
		大腿骨頸部骨折	129 件	93 件	87 件	115 件	109 件	▲20 件
		脳卒中	238 件	251 件	220 件	206 件	188 件	▲50 件
		5大がん	6 件	19 件	13 件	15 件	25 件	+19 件
		狭心症・心筋梗塞	15 件	11 件	2 件	1 件	0 件	▲15 件
		糖尿病	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	±0 件
		合 計	388 件	374 件	322 件	337 件	322 件	▲66 件
		○ 共同指導・連携指導の実績						
		項目\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	増減(R元→R5)
		退院時共同指導実績	204 件	222 件	202 件	94 件	194 件	▲10 件
		介護支援連携指導	372 件	229 件	174 件	171 件	180 件	▲192 件
		○ 訪問活動件数・健康づくり講座の実施回数						
		区分\年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	増減(R元→R5)
		訪問活動	34 件	48 件	15 件	10 件	18 件	▲16 件
		健康づくり講座	17 回	3 回	0 回	10 回	16 回	▲1 回

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●)、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価)						評価委員会の検証																																																									
								自己 評価	検 証 (案)																																																								
06	<p><b>1 臨床研究及び治験の推進</b> 治験や調査研究事業に積極的に参画できるよう体制を整備し、受託件数の増加に努める。</p> <p><b>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</b> 岐阜県及び東濃圏域の医療の水準の向上を図るため、大学等の研究機関や企業との共同研究などを進める。</p>	<p>* 調査及び臨床研究等に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>治験や調査研究事業について、受託可能な案件がなく、新規受託件数はゼロとなった。</li> <li>臨床共同研究について、関連大学等からの依頼に積極的に応じた。</li> </ul> <p>○ 治験件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>±0件</td> </tr> <tr> <td>臨床共同研究件数</td> <td>13件</td> <td>12件</td> <td>8件</td> <td>7件</td> <td>10件</td> <td>▲3件</td> </tr> </tbody> </table>						区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	治験実施件数	0件	0件	0件	0件	0件	±0件	臨床共同研究件数	13件	12件	8件	7件	10件	▲3件	III																																				
区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																																																											
治験実施件数	0件	0件	0件	0件	0件	±0件																																																											
臨床共同研究件数	13件	12件	8件	7件	10件	▲3件																																																											
08	<p><b>1 質の高い臨床研修医の養成等</b> 他の臨床研修病院等と連携し、当院が東濃圏域の基幹病院であることの特徴を生かした研修プログラムにより、研修医の資質向上に努める。また、岐阜県医師育成・確保コンソーシアムとの連携によって、研修医の確保と資質向上を図る。</p> <p><b>2 専攻医の育成等</b> 専攻医研修プログラムの基幹施設(内科・外科・精神科領域)又は連携施設として、大学病院、他の医療機関等との連携により専攻医の育成に努める。</p>	<p>* 臨床研修医の受入れと資質向上及び専攻医の育成に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、名古屋大学等から講師を招聘して総合診療教育カンファレンスや総合内科診療教育研修を開催し、研修医の確保と資質向上を図った。</li> <li>研修医のニーズを踏まえ、内科症例検討会や、各診療科部長による実践的な講義、若手先輩医師を講師とした早朝勉強会を開催し、研修医の資質向上に努めた。</li> <li>内科領域、外科領域及び精神科領域の専門研修プログラムの基幹施設として、内科医師、外科医師、精神科医師を当院プログラムに採用した。</li> <li>内科専攻研修プログラムの基幹施設として、公立陶生病院内科研修プログラムと合同で症例検討会を実施した。</li> </ul> <p>○ 医師の研修派遣実績人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>455人</td> <td>182人</td> <td>309人</td> <td>432人</td> <td>525人</td> <td>+70人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 初期臨床研修医数 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>23人</td> <td>26人</td> <td>24人</td> <td>24人</td> <td>24人</td> <td>+1人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>±0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 後期研修医(レジデント)数 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>19人</td> <td>20人</td> <td>21人</td> <td>18人</td> <td>28人</td> <td>+9人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>▲2人</td> </tr> </tbody> </table>						区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	派遣	455人	182人	309人	432人	525人	+70人	区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	医師	23人	26人	24人	24人	24人	+1人	歯科医師	2人	2人	2人	2人	2人	±0人	区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	医師	19人	20人	21人	18人	28人	+9人	歯科医師	3人	2人	2人	1人	1人	▲2人	III	
区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																																																											
派遣	455人	182人	309人	432人	525人	+70人																																																											
区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																																																											
医師	23人	26人	24人	24人	24人	+1人																																																											
歯科医師	2人	2人	2人	2人	2人	±0人																																																											
区分\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																																																											
医師	19人	20人	21人	18人	28人	+9人																																																											
歯科医師	3人	2人	2人	1人	1人	▲2人																																																											

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●)、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価)					評価委員会の検証																			
							自己 評価	検 証 (案)																		
10	<p><b>1 地域医療水準の向上</b> 地域の医療機関と連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用や開放型病床の利用の促進などにより、地域医療水準向上を図る。</p> <p><b>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</b> 東濃地域等の医師不足地域の医療機関や、へき地医療機関への診療支援を継続して実施する。</p>	<p>※ 地域医療への支援に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年10月23日に、第37回岐阜県病院協会医学会を当院長を学会長として多治見市のセラミックパークMI NOで開催し、特別講演、共催セミナー、演題発表が行われ、医療の発展と向上に寄与した。</li> <li>医療連携推進協議会を定期的に開催し、地域の医療機関との連携強化に努めた。また、地域医療連携センターによる開業医への訪問活動等を通じて、高度医療機器の共同利用の促進や、紹介患者獲得へ向けPR活動を実施した。</li> </ul> <p>* 人的支援に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険上矢作病院へ医師1名を週1回(当直業務)派遣した。</li> <li>土岐市立総合病院へ定期的に医師を派遣した。(当直業務、循環器内科、消化器内科)</li> </ul> <p>○ 他の医療機関への人的支援状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣機関\年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険上矢作病院</td> <td>週1回(当直業務)1人(7人で交代)</td> <td>週1回(当直業務)1人(6人で交代)</td> <td>週1回(当直業務)1人(11人で交代)</td> <td>週1回(当直業務)1人(5人で交代)</td> <td>週1回(当直業務)1人(交代)</td> </tr> <tr> <td>土岐市立総合病院</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>循環器内科 4月～3月 毎週木曜日 2人(2人で交代)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> <li>消化器内科 10月～3月 毎週火曜日と木曜日(2人で隔週交代)</li> <li>毎週金曜日(当直業務) 5月～3月(7人で交代)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務)(4人で交代)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務)(4人で交代)</li> <li>消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代)</li> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務)1人で交代)</li> <li>消化器内科 毎週火曜日(4人で交代)</li> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					派遣機関\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	国民健康保険上矢作病院	週1回(当直業務)1人(7人で交代)	週1回(当直業務)1人(6人で交代)	週1回(当直業務)1人(11人で交代)	週1回(当直業務)1人(5人で交代)	週1回(当直業務)1人(交代)	土岐市立総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環器内科 4月～3月 毎週木曜日 2人(2人で交代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> <li>消化器内科 10月～3月 毎週火曜日と木曜日(2人で隔週交代)</li> <li>毎週金曜日(当直業務) 5月～3月(7人で交代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務)(4人で交代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務)(4人で交代)</li> <li>消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代)</li> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務)1人で交代)</li> <li>消化器内科 毎週火曜日(4人で交代)</li> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> </ul>	IV	
派遣機関\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																					
国民健康保険上矢作病院	週1回(当直業務)1人(7人で交代)	週1回(当直業務)1人(6人で交代)	週1回(当直業務)1人(11人で交代)	週1回(当直業務)1人(5人で交代)	週1回(当直業務)1人(交代)																					
土岐市立総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環器内科 4月～3月 毎週木曜日 2人(2人で交代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> <li>消化器内科 10月～3月 毎週火曜日と木曜日(2人で隔週交代)</li> <li>毎週金曜日(当直業務) 5月～3月(7人で交代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務)(4人で交代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務)(4人で交代)</li> <li>消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代)</li> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週金曜日(当直業務)1人で交代)</li> <li>消化器内科 毎週火曜日(4人で交代)</li> <li>循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</li> </ul>																					
16	<p><b>1 新型インフルエンザ等発生における受入れ体制の整備</b> 新型インフルエンザ等対策特別措</p>	<p>* 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19対策チームを結成し、対応マニュアルやBCPの作成を行い、院内メールや掲示板等で職員へ周</li> </ul>					IV																			

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証
			自己 評価	検 証 (案)
	<p>置法及び業務計画に定めるところにより、新型インフルエンザ等対策を実施する。また、必要な物資及び資材の備蓄・整備・点検並びに施設及び設備の整備・点検を実施する。</p> <p><b>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</b> 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練を実施する。</p> <p><b>3 感染症指定医療機関としての役割の発揮</b> 感染症指定医療機関として、平時から患者を受け入れられる体制及び設備の整備を図る。また、東濃地域の医療機関に対し、医療情報の提供など指導的な役割を担う。</p>	<p>知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な物資、資材等の備蓄を実施した。また、個人防護具等について、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、在庫確保量を見直し県で30日分備蓄見込みであることを考慮し、院内で30日分確保した。</li> <li>新型コロナウイルス感染防止対策としてラウンドを実施するとともに、定期的に職員向け情報を発行し、職員の感染防止意識を高めた。</li> <li>感染症指定医療機関として、他施設や開業医等に対し情報共有や感染防止対策の支援等を実施した。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大に際し、他施設や開業医へ情報共有やゾーニング等の感染対策の支援を実施した。また、WEBでの勉強会を開催し、質問等に対応するなど指導的な役割を發揮した。</li> <li>基幹病院としての機能を維持するため、職員への新型コロナウイルスワクチン接種を計画的に実施した。</li> </ul>		
21	<p><b>1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底</b> 医療法をはじめとする国の法令や関係規程、法人が定める倫理方針や各種規程の順守を徹底する。 また、定期的に研修等を実施し、コンプライアンス意識啓発に努めるとともに、監事監査、内部監査等を実施し、適正な業務執行の確認体制を継続する。</p>	<p>* コンプライアンスの徹底に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>監事監査や内部監査の実施により、適正な業務執行の確認体制を維持した。</li> <li>全職員に対するコンプライアンス研修や、新規採用職員に対する服務と倫理について関係法令等の説明を実施し、コンプライアンスの意識啓発に努めた。</li> <li>ハラスメント対策として、院内広報誌「土岐川のしらべ」を隔週で発行した。</li> <li>内部統制について、監査法人と委託契約を締結し、院内リスクの識別やその対応状況、在庫管理や収益認識基準の導入における内部統制への影響等について取りまとめ、内部統制委員会やリスク管理委員会へ報告し、リスク等の共有を図った。</li> </ul>	III	
24	<p><b>1 効果的な病末管理、医療機器の効率的な活用</b> 効果的、効率的に病床を運用し、病床利用率及び在院日数の最適化を図る。 また、高度医療機器の共同利用を促</p>	<p>* 収入の確保に関する事項</p> <p>☆ 業務実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の病院や施設等への訪問などで連携を強化し、円滑な退院や車院調整を実施することで、DPCⅡの期間を超えた入院患者の減少に努めた。</li> <li>高度医療機器の共同利用促進について、地域医療連携センターによる開業医への訪問活動を実施した。</li> <li>分析ツールで診療科別の原価計算分析や対前年度比較等を行い、収益と費用の状況を継続的にモニタリングした。</li> </ul>	III	

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●)、法人の自己評価年度計画に係る業務実績、法人の自己評価)					評価委員会の検証																																																																																																																																				
							自己 評価	検 証 (案)																																																																																																																																			
	<p>進するなど、医療機器の効率的な活用を図る。</p> <p><b>2 未収金の発生防止対策等</b> 関連部署間の連携強化、医療相談窓口の拡充等、未収金発生の未然防止の取組を推進するとともに、未収金の早期回収に努める。</p> <p><b>3 国の医療制度改革や診療報酬改定等への迅速な対応</b> 診療報酬改定情報を早期に収集・分析し、改定内容を踏まえた体制の整備を図るとともに迅速な届出を行う。特に、DPC特定病院群（高診療密度病院群）としての診療機能を確保することに努める。また、国の医療制度改革に柔軟に対応していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療相談課と医事課で連携を図り、診療の初期段階から積極的に介入し、患者からの相談があれば医療制度や申請方法等について説明を実施するなど未収金発生の未然防止に取り組んだ。また、高齢の独居患者や生活が困窮している患者の対応について、行政と相談しながら早期に対応した。</li> <li>未収金が発生した際には、分納誓約等を締結し、定期的に入金させるとともに督促電話等を積極的に行った。また、事案によっては弁護士に回収を委託した。</li> <li>診療報酬改定について、院内各部門と連携し診療報酬勘算や施設基準の変更への対応に遺漏がないよう取り組んだ。</li> <li>DPC特定病院群維持のため、診療報酬委員会を中心に、診療密度の向上やDPC入院期間Ⅱまでの退院調整に取り組んだ。</li> <li>県の個別経営コンサルタント事業に参加し、経営における問題点等について把握した。</li> </ul> <p>○ 病床管理状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減(R元→R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">入院</td> <td>新規入院患者数</td> <td>14,654人</td> <td>13,123人</td> <td>13,966人</td> <td>13,159人</td> <td>12,563人</td> <td>▲2,091人</td> </tr> <tr> <td>延べ入院患者数</td> <td>165,889人</td> <td>148,961人</td> <td>159,465人</td> <td>144,878人</td> <td>139,020人</td> <td>▲26,869人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均在院日数</td> <td>全体</td> <td>10.3日</td> <td>10.4日</td> <td>10.4日</td> <td>10.0日</td> <td>10.1日</td> <td>▲0.2日</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>9.9日</td> <td>10.1日</td> <td>10.2日</td> <td>9.8日</td> <td>9.8日</td> <td>▲0.1日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">診療単価</td> <td>全体</td> <td>71,960円</td> <td>76,556円</td> <td>78,220円</td> <td>83,559円</td> <td>85,168円</td> <td>+13,208円</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>74,727円</td> <td>78,616円</td> <td>79,931円</td> <td>85,072円</td> <td>87,192円</td> <td>+12,965円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>一日当平均患者数</td> <td>1,128人</td> <td>1,015人</td> <td>1,068人</td> <td>1,086人</td> <td>1,057人</td> <td>▲71人</td> </tr> <tr> <td>患者一人当診療単価</td> <td>19,638円</td> <td>21,851円</td> <td>21,346円</td> <td>21,602円</td> <td>23,580円</td> <td>+3,942円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 未収金の発生状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分\年度</th> <th colspan="2">R元年度</th> <th colspan="2">R2年度</th> <th colspan="2">R3年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>281件</td> <td>21,386千円</td> <td>317件</td> <td>22,013千円</td> <td>329件</td> <td>26,200千円</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>511件</td> <td>22,485千円</td> <td>518件</td> <td>23,564千円</td> <td>574件</td> <td>22,152千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>792件</td> <td>43,871千円</td> <td>835件</td> <td>45,577千円</td> <td>903件</td> <td>48,352千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <th colspan="2">R4年度</th> <th colspan="2">R5年度</th> <th colspan="2">増減(R元→R5)</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td>過年分</td> <td>440件</td> <td>30,794千円</td> <td>548件</td> <td>34,151千円</td> <td>+267件</td> <td>+12,765千円</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>572件</td> <td>35,590千円</td> <td>509件</td> <td>53,825千円</td> <td>▲2件</td> <td>+31,340千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,012件</td> <td>66,384千円</td> <td>1,057件</td> <td>87,976千円</td> <td>+265件</td> <td>+44,105千円</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)	入院	新規入院患者数	14,654人	13,123人	13,966人	13,159人	12,563人	▲2,091人	延べ入院患者数	165,889人	148,961人	159,465人	144,878人	139,020人	▲26,869人	平均在院日数	全体	10.3日	10.4日	10.4日	10.0日	10.1日	▲0.2日	一般	9.9日	10.1日	10.2日	9.8日	9.8日	▲0.1日	診療単価	全体	71,960円	76,556円	78,220円	83,559円	85,168円	+13,208円	一般	74,727円	78,616円	79,931円	85,072円	87,192円	+12,965円	外来	一日当平均患者数	1,128人	1,015人	1,068人	1,086人	1,057人	▲71人	患者一人当診療単価	19,638円	21,851円	21,346円	21,602円	23,580円	+3,942円	区分\年度	R元年度		R2年度		R3年度		件数	金額	件数	金額	件数	金額	過年分	281件	21,386千円	317件	22,013千円	329件	26,200千円	現年分	511件	22,485千円	518件	23,564千円	574件	22,152千円	合計	792件	43,871千円	835件	45,577千円	903件	48,352千円		R4年度		R5年度		増減(R元→R5)		件数	金額	件数	金額	件数	金額	過年分	440件	30,794千円	548件	34,151千円	+267件	+12,765千円	現年分	572件	35,590千円	509件	53,825千円	▲2件	+31,340千円	合計	1,012件	66,384千円	1,057件	87,976千円	+265件	+44,105千円		
項目\年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増減(R元→R5)																																																																																																																																					
入院	新規入院患者数	14,654人	13,123人	13,966人	13,159人	12,563人	▲2,091人																																																																																																																																				
	延べ入院患者数	165,889人	148,961人	159,465人	144,878人	139,020人	▲26,869人																																																																																																																																				
	平均在院日数	全体	10.3日	10.4日	10.4日	10.0日	10.1日	▲0.2日																																																																																																																																			
		一般	9.9日	10.1日	10.2日	9.8日	9.8日	▲0.1日																																																																																																																																			
	診療単価	全体	71,960円	76,556円	78,220円	83,559円	85,168円	+13,208円																																																																																																																																			
一般		74,727円	78,616円	79,931円	85,072円	87,192円	+12,965円																																																																																																																																				
外来	一日当平均患者数	1,128人	1,015人	1,068人	1,086人	1,057人	▲71人																																																																																																																																				
	患者一人当診療単価	19,638円	21,851円	21,346円	21,602円	23,580円	+3,942円																																																																																																																																				
区分\年度	R元年度		R2年度		R3年度																																																																																																																																						
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																																																																																					
過年分	281件	21,386千円	317件	22,013千円	329件	26,200千円																																																																																																																																					
現年分	511件	22,485千円	518件	23,564千円	574件	22,152千円																																																																																																																																					
合計	792件	43,871千円	835件	45,577千円	903件	48,352千円																																																																																																																																					
	R4年度		R5年度		増減(R元→R5)																																																																																																																																						
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																																																																																																																					
過年分	440件	30,794千円	548件	34,151千円	+267件	+12,765千円																																																																																																																																					
現年分	572件	35,590千円	509件	53,825千円	▲2件	+31,340千円																																																																																																																																					
合計	1,012件	66,384千円	1,057件	87,976千円	+265件	+44,105千円																																																																																																																																					